



2025 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名： 株 式 会 社 魅 力 屋
代表者名： 代表取締役社長 藤田 宗
(コード番号：5891 東証スタンダード)
問合せ先： 取締役 管理本部長 山川 拓人
(電話番号：075-211-3338)

連結決算移行に伴う連結業績予想及び個別業績予想修正のお知らせ

当社は、2025 年 12 月期第 3 四半期より従来の単体決算から連結決算に移行いたしました。2025 年 12 月期の連結業績予想及び 2025 年 12 月期通期個別業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結決算の移行について

当社は、2025 年 7 月 15 日に公表いたしました「株式会社グランキューイジーヌの株式取得（子会社化）の手続き完了のお知らせ」のとおり、2025 年 7 月 15 日に株式会社グランキューイジーヌの全株式を取得し同社を連結子会社化いたしました。

これに伴い 2025 年 12 月期第 3 四半期より連結決算に移行いたしました。

さらに 2024 年 11 月 1 日に設立いたしました台湾魅力屋国際股份有限公司につきましても連結の範囲に含めております。

なお、台湾魅力屋国際股份有限公司は、2025 年 8 月 29 日に海外初店舗として「京都北白川 ラーメン 魅力屋 新光三越台南小北門店」を台南市にオープンいたしました。

2. 連結業績予想について

2025 年 12 月期連結業績予想（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
今回発表予想	百万円 14,500	百万円 720	百万円 720	百万円 390	円 銭 69.09

3. 個別業績予想の修正について

2025 年 12 月期個別業績予想の修正（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
当初発表予想 (A)	百万円 14,000	百万円 1,000	百万円 1,000	百万円 620	円 銭 110.03
今回修正予想 (B)	13,700	800	800	450	79.64
増減額 (B-A)	△300	△200	△200	△170	
増減率 (%)	△2.1%	△20.0%	△20.0%	△27.4%	
(参考) 前期実績	12,272	860	880	535	94.94

修正の理由

売上高につきましては、新規出店時期の遅れにより当初の業績予想を僅かに下回る見通しとなりました。なお、出店数は当初予想している店舗数に変更はございません。

また、既存店舗につきましては、期間限定商品や公式アプリリリースによる販売促進強化等により堅調に推移しております。

収益面につきましては、物価高騰による原材料価格の高止まり、人材確保を背景とした人件費の増加に加え、M&Aをはじめとしたマルチブランド展開、及びグループ経営管理の基盤構築に伴う費用により、当初予想を下回る見通しとなりました。

このような状況をふまえ、2025 年 12 月期の通期業績予想を修正することといたしました。

当社は、当初、単体ベースでの業績予想を公表しておりましたが、当期中に海外子会社の 1 号店開設及び子会社株式の取得を行ったことにより、連結決算に移行することとなりました。これに伴い、連結ベースでの業績を精査した結果、出店の遅れに加え、一部事業の立ち上げコストや連結初年度特有の費用計上等の影響により、営業利益及び当期純利益が当初予想を下回る見込みとなりました。

当社は、「経営基盤の強化と将来の成長投資に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施する」ことを基本方針としており、年間配当性向 20%程度を目安として配当額を決定しております。しかしながら、今回の業績予想の修正は連結移行に伴う一時的な影響によるものであり、当社グループ全体としてのキャッシュ・フローや財務基盤に大きな変化はないことから、当初公表の期末配当（1 株当たり 23 円）を維持することといたしました。

今後の配当方針については、連結決算への移行により業績の範囲や複雑性が増すことを踏まえ、株主還元の安定性および予見性を一層高めることを目的に、累進配当方針の採用を含めた配当方針の見直しを検討しております。本件については、来期業績予想の公表時までの方針を決定し、併せて開示する予定です。

当社は今後も、事業成長と株主還元の両立を図り、企業価値の持続的な向上に努めてまいります。

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上